産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】 評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
鳥取	12	9	3	33.3%	2	有	2	<p>県の平均達成率は未達成となった。 未達成となった要因に気象災害による製品率の低下や、予期せぬ生産者の離脱等があり、産地の努力だけでは回避できない事態も重なったと判断する。 未達成である取組主体に対し、適期防除の実施や担い手の確保等、引き続き関係機関と連携して目標達成に向けた指導・支援を行う。</p>	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の平均達成率は33.3%となっており未達成であった。 未達要因は、気象影響（降霜、降雪、豪雨）、予期せぬ生産者の離脱等に伴う生産量の減少が原因と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
島根	12	10	2	0.0%	2	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 島根県（種子）については、新施設でのオペレーション不慣れによる作業日数増加等での人件費増や、またコロナ禍による需要低下等による処理量も未達となったことから、県としてオペレーション改善や処理量の増加について必要に応じて情報提供等を行い目標達成に向けた支援を行う。 また、浜田市農業再生協議会の果樹（ぶどう）にあっては、災害級の降雨による裂果や病気、生理障害の発生が未達の主要因であることから、関係機関と連携して排水対策や病気、生理障害対策を指導し早期の目標達成を図る。</p>	<p>評価対象となる2地区について、成果目標の平均達成率は0.0%となっており、未達成であった。 未達要因は、コロナ影響による需要の低迷、気象影響（豪雨等）による病気発生等が原因と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
岡山	17	11	6	66.6%	2	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 未達となった要因は、気象の影響による生産量の減少及び品質の低下などが原因と考える。 今後は、目標達成に向け農業再生協議会に対し、生産量及び品質の向上について、関係機関と連携して指導等を行う。</p>	<p>評価対象となる6地区について、成果目標の平均達成率は66.6%となっており、未達成であった。 未達要因は、気象影響（長雨、日照不足、高温・乾燥）による減収及び品質低下等が原因と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
広島	11	8	3	75.5%	1	有	1	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 未達となった要因として、日照不足及び豪雨災害による品質低下が影響したと考えられる。 成果目標が未達成となった安芸高田市農業再生協議会に対しては、目標達成に向けて引き続き関係機関が連携して指導を行う。</p>	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の平均達成率は75.5%となっており、未達成であった。 未達要因は、気象影響（日照不足、豪雨）による品質低下が原因と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
山口	0	0	0	-	-	-	-	-	-
徳島	4	3	1	0.0%	1	有	1	<p>県平均達成率は未達成となった。 一部品目における夏季の長雨による減収や栽培面積の伸び悩み、新型コロナウイルスの影響や日照不足による品質の低下に起因する販売単価が低迷等が要因である。 今後は、新規就農者育成塾や親方制度等の研修、空きハウスの幹旋、巡回による栽培指導を徹底などにより、生産量の増加、新規就農者の確保育成による栽培面積の拡大等について取り組む必要があることから、未達成取組地区に対し、引き続き農業支援センター等関係機関が一体となり、目標達成に向けて指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は0.0%となっており、未達成であった。 未達要因は、気象要因（夏季の長雨）による減収や新型コロナウイルスの影響による販売単価の低迷等が原因と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
香川	4	4	0	-	-	-	-	-	-
愛媛	4	3	1	0.2%	1	有	1	<p>県平均達成率は、未達成となった。 未達となった要因は、施設整備の遅れにより、施設効果が十分に発揮できなかった等が原因と思われる。 施設整備後は順調に生産されており、今後の目標達成に向け、関連機関と連携し、栽培指導・営農支援等の指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は0.2%となっており、未達成であった。 未達要因は、施設整備の遅れにより施設効果が十分に発揮できなかったことが原因と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
高知	13	4	9	79.6%	3	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響や労働力不足、病害虫被害等の影響による収量減少や販売単価の下落が見られた。今後は、灌水・温湿度・肥培管理や病害虫の適期防除、薬剤のローテーション散布等の栽培管理指導等を関係機関と連携して指導を行うことで、目標達成を目指す。</p>	<p>評価対象となる9地区について、成果目標の平均達成率は79.6%となっており、未達成であった。 未達要因は、コロナ影響による労働力不足や病害虫発生による生産量、品質の低下が原因と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

産地パワーアップ事業評価書(中間評価)

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アイ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導 を必要とし た地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
愛媛	2	0	2	50.0%	1	有	1	<p>県平均達成率は、未達成となった。 未達となった要因は、柑橘に係る取組において、天候不順による病害の発生や労働力不足による管理不足が原因と思われる。 今後は、異常気象に対応できる産地づくりを形成するため、高品質果実の生産体制を強化するとともに、担い手への円滑な農地継承について、関連機関と連携し指導を行う。</p>	<p>評価対象となる2地区について、成果目標の平均達成率は50.0%となっており、未達成であった。 未達要因は、気象影響（春先の長雨）による病害の発生や労働力不足により管理不足が原因と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R3)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
鳥取県	若桜町	若桜町農業再生協議会	1	土地利用型作物(稲)	販売額の10%以上の増加 (目標:17.5%増加)	102,152円/10a	120,000円/10a	90,496円/10a	-65.3%	主要経営体の生産量が伸び悩んでおり、販売量も十分に確保出来なかったため、成果目標は未達成となった。引き続き、収量向上の技術対策等に重点を置いた改善指導を関係機関で連携して行うように若桜町農業再生協議会を指導する必要がある。
	湯梨浜町	湯梨浜町農業再生協議会	1	果樹(梨)	販売額の10%以上の増加 (目標:11.1%増加)	706,980円/10a	785,621円/10a	630,175円/10a	-97.7%	条件不利地の栽培規模縮小や不慮の事故等で栽培継続が困難になる等の理由により、計画時の想定よりも大幅に栽培面積及び出荷量が減少したのに加え、R3年は気象災害の多発による収量減も影響し、成果目標は未達成となった。事業の目的である「産地の発展」「ブランド強化」には、栽培面積維持と出荷量確保が不可欠であることから、関係機関と連携して実施してきた優良園地の継承や栽培技術指導による反収増加の取組を、更に強化するよう指導が必要である。併せて、近年多発している気象災害に対する防災、減災の取組についても強化を促す。
島根県	島根県	島根県農業再生協議会	1	土地利用型作物種子(稲・大麦)	加工コストの6%を超える削減 (目標:9.6%削減)	104円/kg	94円/kg	104/kg	0.0%	想定していた処理効率を発揮できず、計画よりも人件費が増加し、登録品種の表示義務化に伴い追加資材が必要となった。また、コロナ禍による需要の低下等により処理量が計画に達せず、成果目標は未達成となった。今後は、オペレーション改善や処理量の増加について情報提供等を行うことで島根県農業再生協議会を指導する。
	浜田市	浜田市農業再生協議会	2	果樹(ぶどう ピオーネ・シャインマスカット)	販売額の10%以上の増加 (目標:14.9%増加)	21,395千円	24,580千円	19,792千円	-50.4%	災害級の降雨による裂果や病気、生理障害の発生により目標は未達成となった。今後は、関係機関と連携して、排水対策や病気、生理障害対策を実施することで、目標を達成できるよう浜田市農業再生協議会を指導する。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R3)	事業実施後(目標年度)	目標達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
岡山県	真庭市	真庭市農業再生協議会	1	ぶどう(ピオーネ、シャインマスカット、瀬戸ジャイント、オーロラブラック)	販売額の10%以上の増加 (目標: 35.5%増加)	367,399円/10a	497,908円/10a	355,229円/10a	-9.3%	栽培面積は順調に増え、単価も向上したものの、気象の影響により生産量が減少したこと、育成園の生産量がまだ少ないため出荷に結びついていないことから、目標が達成できていない。今後、安定生産及び安定出荷の観点から改善を検討する必要があるため、真庭市農業再生協議会に対し、産地の生産力向上のため病害虫対策や品質向上に向けた技術指導を行い、また出荷量向上のため生産者及び産地の協議を行うよう指導する。
	高梁市 吉備中央町	高梁市農業再生協議会 吉備中央町地域再生協議会	1	施設野菜(トマト)	販売額の10%以上の増加 (目標: 18.5%増加)	402,514千円	477,109千円	347,606千円	-77.6%	8月中旬以降の曇雨天の影響による着色不良により品質が低下し、出荷量の減少及び単価安となった。また、人材確保ができず栽培面積の拡大が進まなかったことから販売額が伸び悩み、目標を達成することができなかった。今後、担い手確保及び収量増加の観点から改善を検討する必要があるため、関係機関と連携しSNS等を活用した情報発信による生産者の確保により栽培面積を拡大し、また継続した巡回指導により品質及び単収を向上するよう、高梁市農業再生協議会及び吉備中央町地域再生協議会を指導する。
広島県	安芸高田市	安芸高田市農業再生協議会	2	施設野菜(チンゲンサイ)	販売額の10%以上の増加 (目標: 120.4%増加)	66,950千円	147,552千円	88,394千円	26.6%	4~9月の日照不足及び8月豪雨災害の被害により、出荷量が大きく落ち込んだことから、目標は未達成となった。今後は、関係機関と生産者間の栽培技術の連携強化及び土壌消毒等の技術普及を図ることで目標達成を実現できるように協議会を指導する。
徳島県	阿南市	阿南市農業再生協議会	1	施設野菜(ハウス胡瓜、チンゲンサイ、イチゴ、サンチュ、ふき、ラディシュ) 露地野菜(菜の花、筍、洋人参、オクラ、かぶ)	販売額の10%以上の増加 (目標: 10.1%増加)	654,191,841円	720,162,887円	524,488,185円	-196.6%	一物品目における夏季の長雨による減収や栽培面積の伸び悩み、新型コロナウイルスの影響や日照不足による品質の低下に起因する販売単価が低迷した。今後は、新規就農者育成塾や親方制度等の研修、空きハウスの斡旋、巡回による栽培指導を徹底などにより、生産量の増加、新規就農者の確保育成による栽培面積の拡大等について取り組む必要があるため、阿南市農業再生協議会を指導する。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R3)	事業実施後(目標年度)	目標達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
愛媛県	宇和島市	南予地域果樹産地協議会	1	果樹(早生みかん(宮川早生)、南柑20号、今津ボンカン)	販売額の10%以上の増加 (目標:10.1%増加)	324,532円/10a	357,310円/10a (R9年度)	320,647円/10a	-11.9%	異常気象にも対応できる強い産地を形成するため、農協指導員や県普及員等が連携して生産者へ多目的スプリンクラーなど灌水施設整備を拡充するとともに、小規模園地整備を推進し、園内道の設置や緩傾斜化を進めることで省力化を図り、高品質果実安定生産体制を強化し目標達成を図る。
	宇和島市	宇和島市農業再生協議会	1	施設野菜(野菜苗)	販売額の10%以上の増加 (目標:19.9%増加)	83,750千円/10a	100,383千円/10a	83,786千円/10a	0.2%	令和3年度実績は、需要の低下や単価が伸び悩んだが、施設整備により、野菜苗の生産量は増えていることから、需要に応じた生産体制、高単価販売が期待されるオリジナル商品の開発等、積極的な動きも見られるため、今後目標達成の見込みはある。引き続き、関係機関と連携し、目標達成を目指す。
高知県	中土佐町	中土佐町地域農業再生協議会	2	施設野菜(ミョウガ)	生産コストの10%以上の削減 (目標:13.5%の削減)	940 円/kg	813 円/kg	1,005 円/kg	-50.9%	樹勢回復等を目的とした肥培管理の実施や、病害虫防除、規模拡大に伴う投資増などにより経費が増加したことから、成果目標は未達成となった。 増収に伴うコストの合理化について、肥培管理や病害虫防除などについては、ミョウガの生育状況に合わせて適切に行うよう農業者に対する指導を行うことに加え、規模拡大に伴う労務管理についても、関連機関との情報共有のうえ、連携して農業者を支援するよう地域農業再生協議会を指導する必要があると考えたため。
	高知県	高知県農業再生協議会	2	施設野菜・果樹・花き	販売額の10%以上の増加 (目標:14.3%の増加)	3,993 千円/10a	4,565 千円/10a	4,053 千円/10a	31.6%	高齢化による産地の規模縮小や、労働力不足などの要因により目標未達成となった。 今後は、新たな担い手の確保など産地規模の維持・拡大や既存の担い手による生産拡大を図るとともに、労働力の確保に向けた支援を行うよう、協議会を指導する必要があると考えたため。